

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL 095-826-8844



長崎市立茂木中学校 防災講話と人命救助セットを展示



2月7日(木)長崎市立茂木中学校において、陸上自衛隊第4施設大隊長の講話が行われました。同中学校では、避難訓練などの防災教育に熱心に取り組んでおり、災害で活躍する自衛隊の活動を知らずしてはならないと、この中で、災害発生時における「自助」「共助」「公助」を促すような普段からの心構えと準備の大切さ、災害発生時の



初期行動の重要性等に踏まえ、実際の災害現場での経験を踏まえた貴重な話を聞くことが出来ました。その後、第16普通科連隊の隊員による人命救助セットと高機能の説明が行われ、実際に生徒が操作要領等を体験して高機能な長崎市内では普段めったに見ることがないためか、少し興奮した様子で触ったり質問したりしていました。今回、防災講話を通じて、生徒達にとっては貴重な体験となったのではないかと思います。

(長崎所)

純心大学学生の護衛艦研修

長崎募集案内所は、2月7日(木)、長崎市にある純心大学の学生15名と引率者3名の佐世保基地研修を支援しました。本研修は、実際に職場を訪ねて雰囲気や業務の様子を体感し、自衛隊への理解を深めることを目的に行われました。まず、護衛艦が停泊している立神地区は、米海軍と施設を共用しているため、基地ゲートでの米軍警備員によるチェックを受けました。多くの米兵を目の前にして少し緊張したものの、無事ゲートを通り、停泊中の護衛艦「こんごう」へ向かいました。この日は、艦の概要や任務、活動状況などのブリーフィングを受け、自衛隊の活動に熱心に聞き入っていました。次に艦内見学へ移り、艦橋ではその高さや、多くの計器に驚いていました。甲板に回り、速射砲や機関砲を見学し、日頃近くで目にするものではない装備に興味が津々々の様子でした。参加者は熱心にメモを取るなどして真剣に研修に取り組んでいました。参加した学生が自衛隊の魅力と活動への理解を深めていたのだと感じました。

(長崎所)



県立大学シーボルト大学 空自の情報通信職域を説明

長崎地本と琴海所地域事務所は、2月11日(月)、長崎県立大学シーボルト校で開催された学内合同企業説明会に企業等社とともに参加しました。同校は、全国でも珍しい情報セキュリティ専門の学科を有するユニークな大学であり、当日は、航空自衛隊西部航空方面隊司令部から2名の支援を受けました。司令部は、航空自衛隊西部航空方面隊司令部から2名の支援を受けました。



幹部の池田3等空佐には情報通信職域の概要と海外での訓練等について説明していただきました。ブースに訪れた学生は、日頃目にする自衛隊の活動とは違った情報通信分野の話に熱心に耳を傾けていました。自衛隊の多様な職域について魅力発信していきたいと考えています。(企画班)



投稿

元タカラジェンヌによる教養講話 「人が輝き組織が活きる心と体の磨き方」



日本の理念と心、人が輝き組織が活きる心と体の磨き方」と題し、隊員約130名に対し、講話をしていただきました。

①ゴールが明確
②身体から入る
③風通しの良さ
④お手本の力
⑤やり方より在り方の5

つ、のキーワードをもとに、元タカラジェンヌとしての自身の経験を踏まえ、100年間揺ぎ無く受け継がれている宝塚歌劇団における伝統の人間教育、日本人として、人間として、また、組織人としてのべき姿とは何か、組織としての「型」の重要性、日本人としての「心」のあり方等、多くの気づきや学びを公演していただきました。

大村航空基地は、1月28日(月)、海上幕僚監部が計画する教養講話として、全国各地で講演活動・マナー研修、学校教育等で活躍されている元宝塚ジェンヌの人気講師、堀内明日香氏をお招きし、「ドラマッカード」のマネジメント論から読み解く宝塚100年の歴史と

「講師自らの経験を織り交ぜた真つ直ぐな講話には説得力があり、心を打たれ涙がこぼれました。」「我々自衛隊という組織において、先輩として後輩を教え導く責任やプロ意識、他人を敬う心や思いやり等、共通する部分が多々あり、とても興味深い講話でした。」との声が寄せられました。



また、講演の最初と最後には、映像に合わせ自らの歌声を披露するサブライズもあり、会場中が大きな拍手と感動に包まれました。

ミサイル艇一般公開を支援



上五島駐在員事務所は2月2日(土)、新上五島町青方港において、海上自衛隊第3ミサイル艇隊のミサイル艇「しらたか」の一般公開を支援しました。
荒天により、2日間予定されていたうちの1日しか公開できませんでしたが、約400名の方が来場されました。
新上五島町は自衛隊(一部)が所在しないこともあり、町民にはなじみの薄い艦艇の一般航海ということで見学された皆様は大変珍しうに見学されていました。
合わせて、小型トラックの展示や自衛隊帽子を被つての写真を撮影も行い、敬礼などのポーズを決める等、楽しんでいただくことが出来ました。
今後とも同種活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。(上五島所)

人事

【退職】
准陸尉 中島 日出登



お世帯になりました

お知り合いに興味のある方いませんか？

自衛官採用 32歳まで

「守りたい。その決断は遅くない！」

自衛隊長崎地方協力本部
(長崎市出島町2-25) 095-826-8845

2月17日付

護衛艦「あさゆき」体験航海



長崎地本は、1月15日(火)護衛艦「あさゆき」(艦長・三浦2等海佐)の修理地回航に伴う体験航海に、高校生1名を含む5名が参加しました。
当日、風もなく、艦は佐世保港内を穏やかに進みました。途中、武器の操作展示、ラッパ演奏、消火作業展示などの乗員が準備した各種イベントを見学しました。
特に、普段見ることのできない消火作業の展示には、消防士さんからの作業に「自衛隊は何でもやるんですね」と驚いた様子でした。また、「カレー」と同じく海上自衛隊では伝統的な食事である「ぜんざい」を体験喫食しました。「以前は、長い航海から母港に入港する前日の夜食に「ぜんざい」が振舞われていたの、説明を聞くことができました。
今後、海上自衛隊の参加を得て、体験航海の参加を計画します。通常は平日の開催となりますが、特に海上自衛隊に興味がある33歳未満の方はぜひご参加ください。

5時間リレーマラソンにおける募集活動



長崎地本部員有志は、2月11日(月)諫早市のトランスコスモスタジアム長崎で行われた、第5回リレーマラソンに参加し、自衛官PRをしました。
この大会は、各チーム1本の標をつなぎ、1周1kmのコースを5時間何周出来るか競うもので、約3千人のランナーが集いました。
地本有志の10人は「チーム募集」として一般の部にエントリーし、全員揃いの真つ赤なTシャツの背中に「自衛官募集」をプリントし、日頃の運動不足を吹き飛ばすかのような走りを見せ、総合成績334チーム中179位と、昨年の210位を上回る成績を上げることが出来ました。
多くの方に自衛官募集をPRすることができ、今後とも積極的に地域活動に参加していきたいと思っております。